2013年度 第2四半期決算説明会

2013年11月8日

株式会社UACJ

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

目 次

1. 古河スカイ　2013年度上期業績

2. 住友軽金属　2013年度上期業績

3. 2013年度下期見通し

4. 今後の方向性

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

1．古河スカイ 2013年度上期業績

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

古河スカイ－第２四半期のポイント

1. 前年同期比で売上高23億円増、経常利益19億円増

- 本格的な景気回復に至らず、売上数量は3千トン減少。
  その中で、LNG船用厚板は需要増加。
- 日光構造改革等によるコストダウン14億円により、経常利益は対前年同期比で19億円増。
- 1Qで固定資産の減損損失24億円を特別損失に計上。

2. 中間配当 3.0円/株

- 予定通り実施。

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

古河スカイ－ 2013年度上期業績

連 結

（億円）

	12年上期 (A)	13年上期 (B)	増 減 (B)－(A)	増減率(%) (B-A)／(A)
売上高	934	957	23	2.5%
営業利益	29	48	19	69.4%
経常利益	31	51	19※	62.1%
当期純利益	18	17	△1	△9.0%

単 体

（億円）

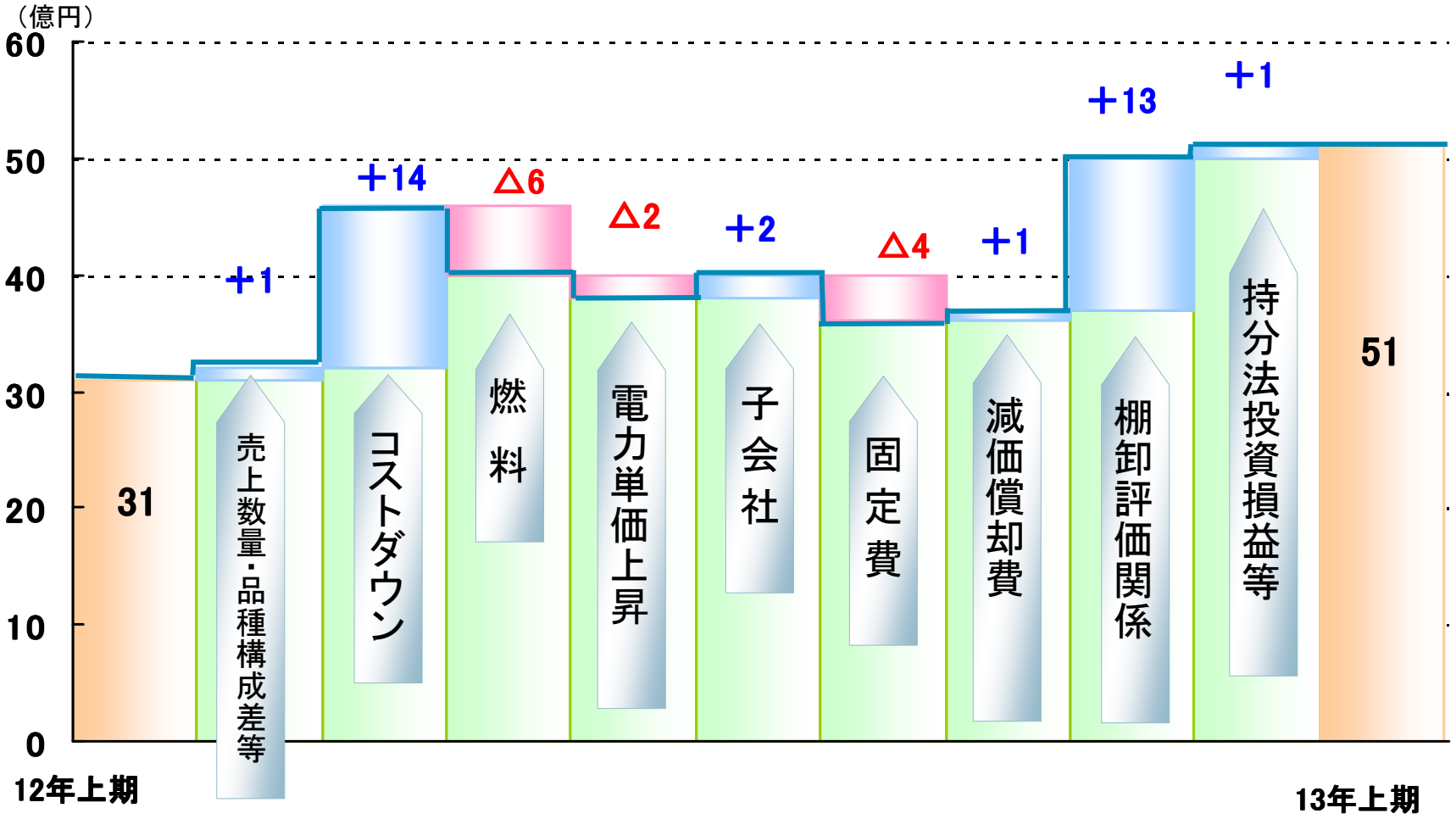
	12年上期 (A)	13年上期 (B)	増 減 (B)－(A)	増減率(%) (B-A)／(A)
売上高	794	813	19	2.4%
営業利益	23	42	19	88.1%
経常利益	22	42	20	87.1%
当期純利益	14	13	△1	△8.8%

※ 億円未満、四捨五入

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

古河スカイ－連結経常損益分析

31億円（12年上期）→51億円（13年上期）



© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

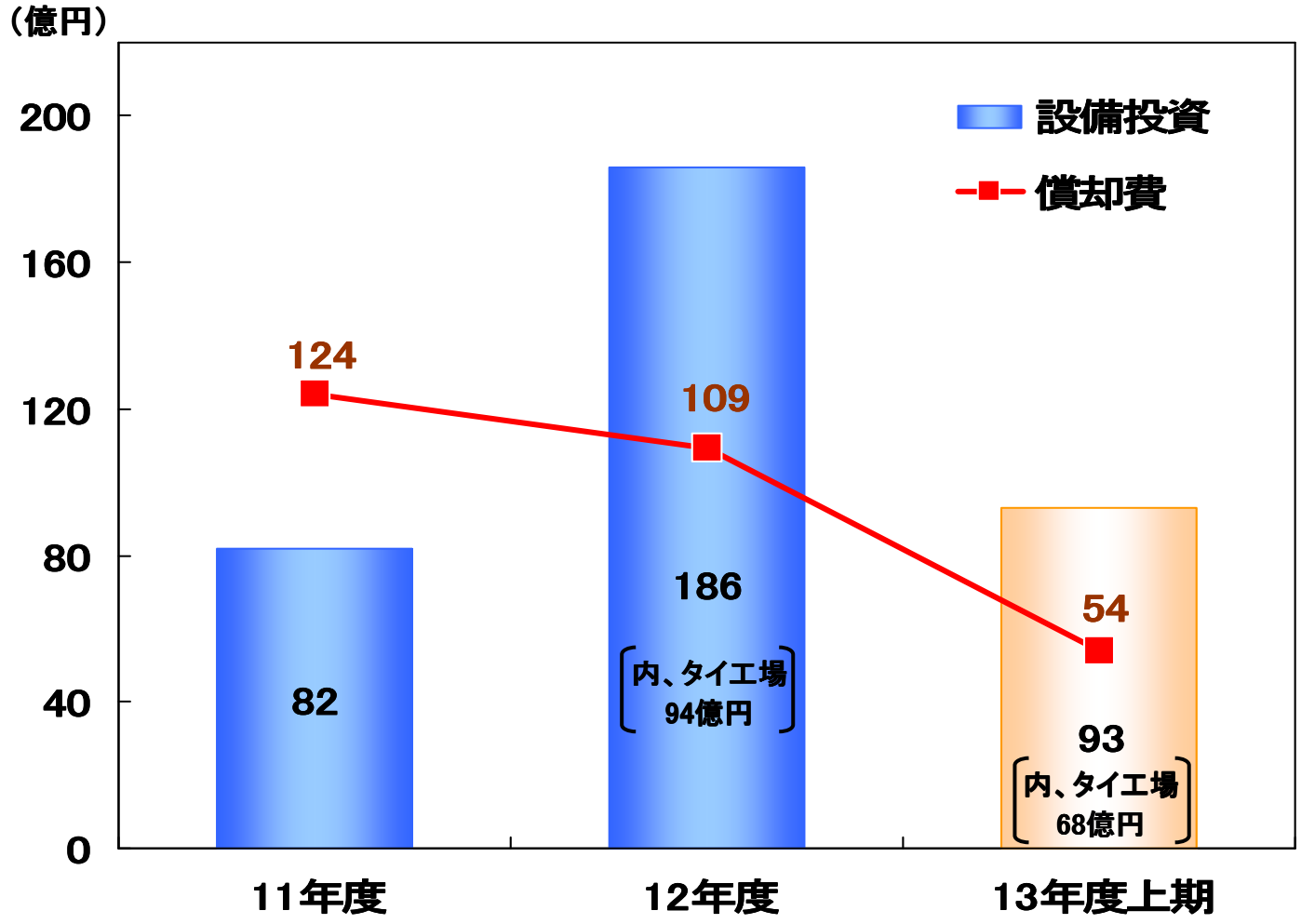
古河スカイ－品種別売上数量（12年上期→13年上期）

（千t）

品　種			12年上期 (A)	13年上期 (B)	増　減 (B)－(A)
板	缶材		63	65	2
	箔地		17	16	△1
	一般内需		54	50	△4
	厚板	LNG	6	7	1
		その他	11	11	0
	輸出		28	29	1
板類計			179	178	△1
押出計			17	16	△1
鋳鍛計			1	1	0
総合計			197	194	△3

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

古河スカイ-設備投資・減価償却費

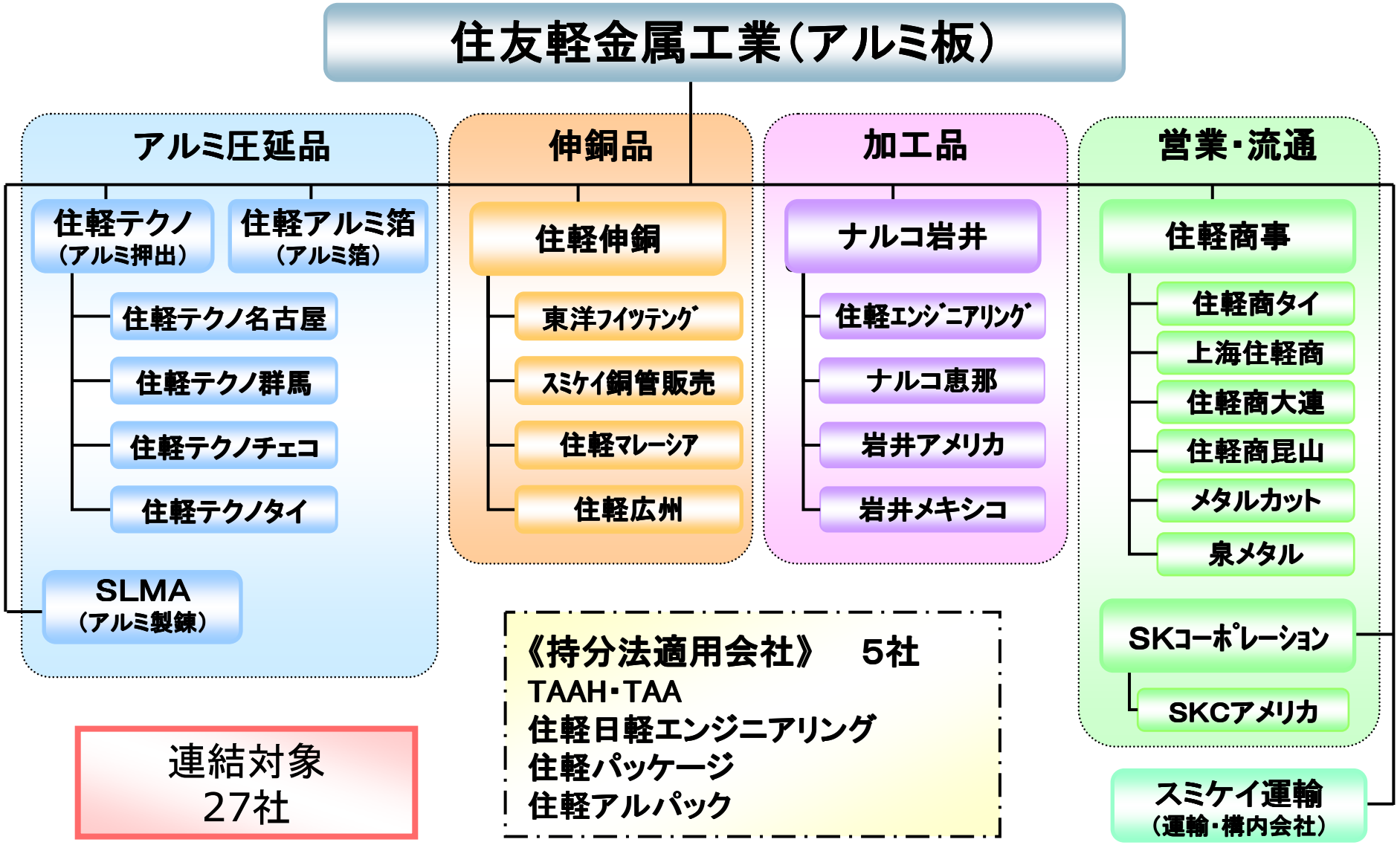


© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

2. 住友軽金属 2013年度上期業績

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

住友軽金属－連結子会社



© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

住友軽金属－第２四半期のポイント

1. 経常利益：34億円、四半期純利益：18億円

- 本格的な景気回復に至らず、堅調であった缶材を除き、需要は全般的に減少。経常利益は34億円に留まる。
- 減損損失の計上等により四半期純利益は18億円。

2. 中間配当 2.0円/株

- 9月25日付で住友軽金属としての中間配当2.0円/株を発表済み。

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

住友軽金属－セグメント別売上高・営業利益(連結)

（億円）

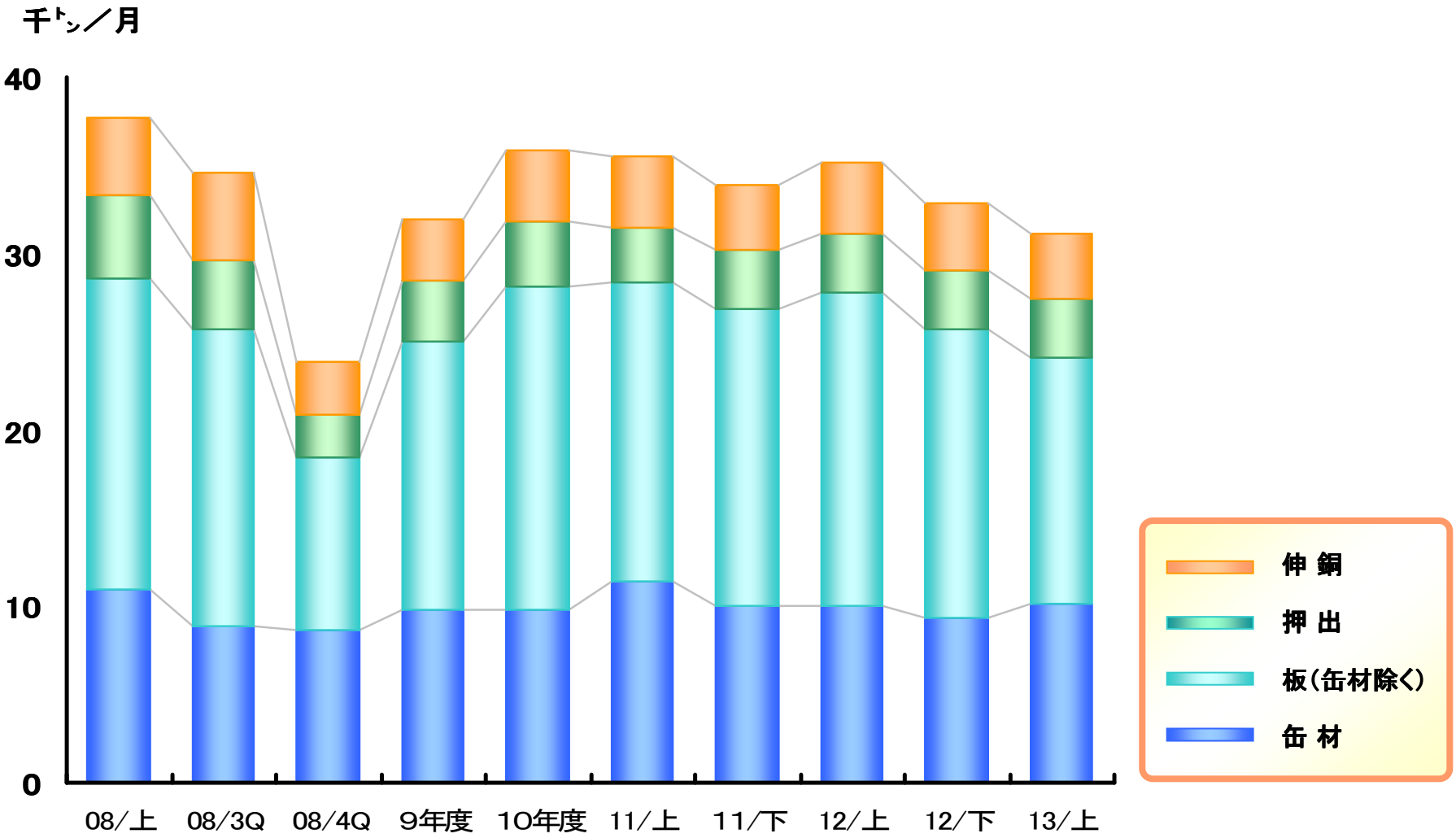
	12年上期		13年上期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	832	64	818	51	△14	△13
伸銅品	279	13	256	6	△23	△7
加工品・関連事業	178	5	176	4	△2	△1
調　整	－	△16	－	△17	－	△1
合　計	1289	66	1250	44	△39	△22

売上高対前年同期増減事由

数量構成差	地金価格差	為替レート差	合　計
△92	31	22	△39

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

住友軽金属－品種別販売量推移



© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

住友軽金属 -連結損益

（億円）

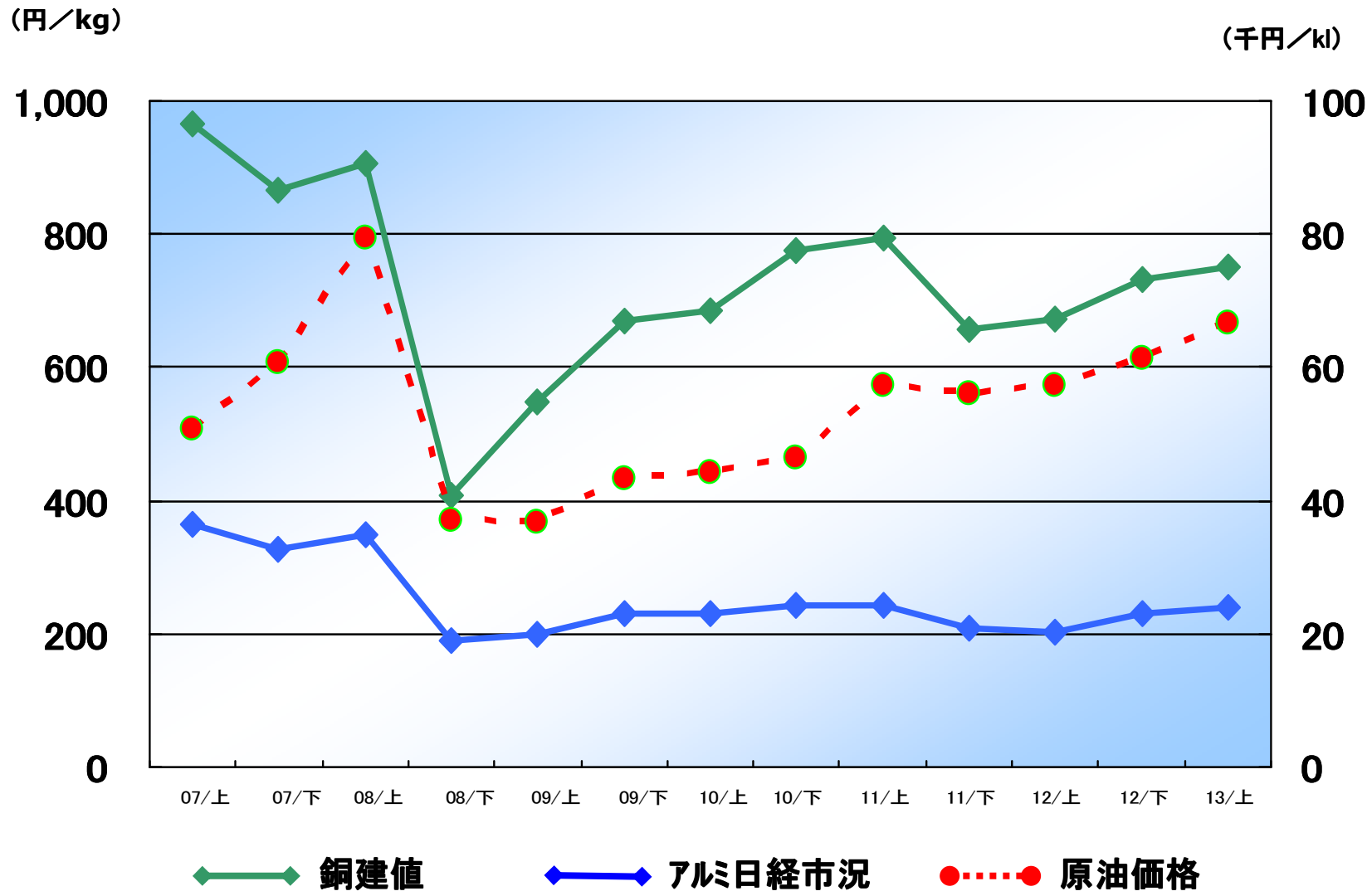
	12年上期	13年上期	増　減 (B)－(A)	増減率(%) (B-A)／(A)
売上高	1289	1250	△39	△3.0%
営業利益	66	44	△22	△33.5%
経常利益	54	34	△20	△35.5%
当期純利益	24	18	△6	△24.4%

設備投資	34	21	△13
減価償却費	40	40	0

	12年上期	13年上期
投資有価証券評価損	△17	－
減損損失	－	△12

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

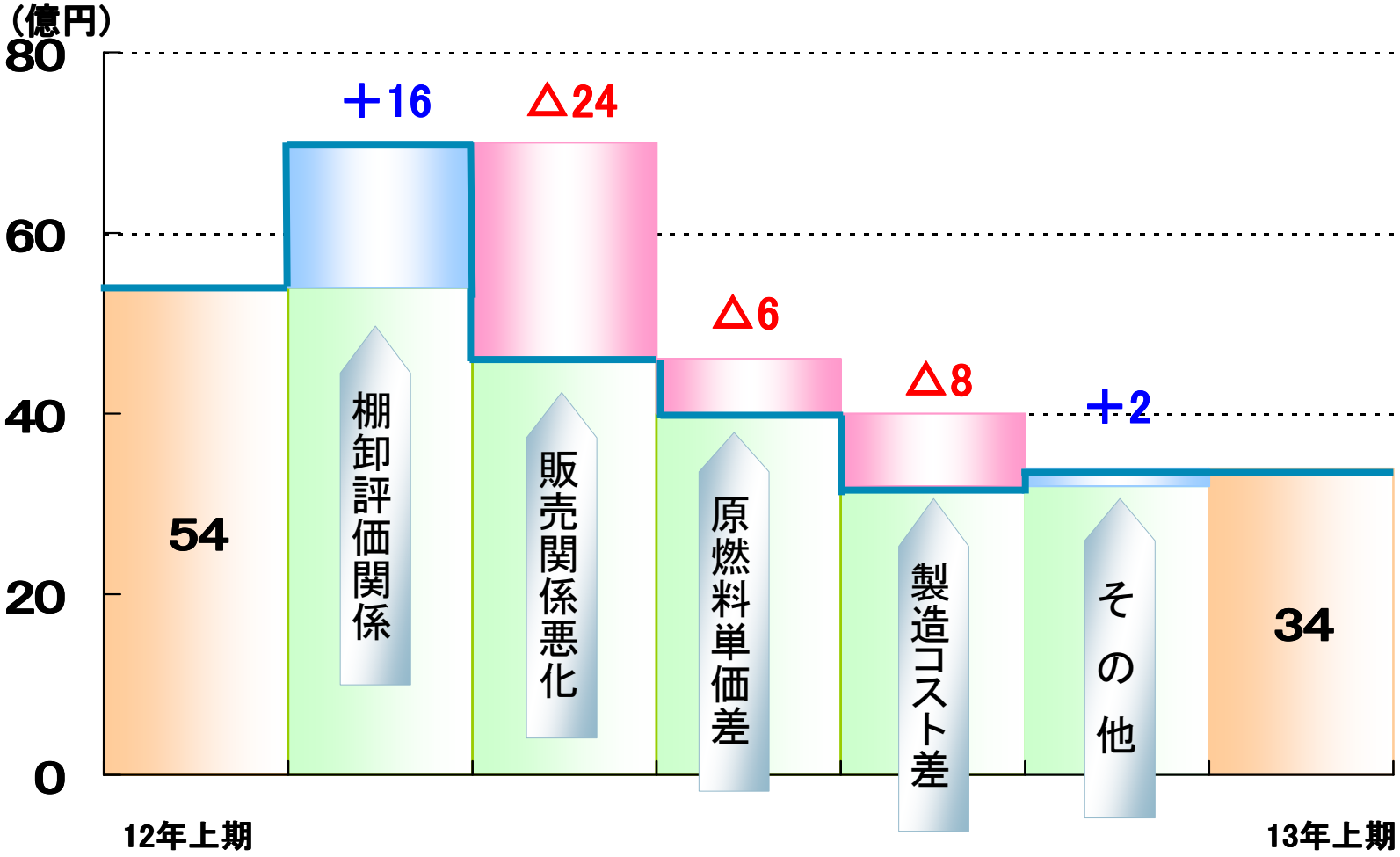
住友軽金属－アルミ・銅地金及び原油価格推移



© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

住友軽金属－連結経常損益分析

54億円（12年上期）→34億円（13年上期）



© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

3. 2013年度下期見通し

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

2013年度下期のポイント

- 2013年度下期のマーケット環境は回復基調。
- TAAは、UACJの経営統合により連結子会社化。
- 通期予想は、両社の経営統合が収益に及ぼす影響を精査中。
  開示が可能になった時点で速やかに開示する予定。

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

マーケット動向 ＜2013下期　主要品種の動向＞

- 円安、個人消費増等の景気回復局面継続により、設備投資、生産の回復が見込まれる。
- 自動車等の耐久消費財を中心に消費税率アップ前の駆け込み需要を予想。

主要品種	業界動向等
国内缶材	需要は底堅く横ばい
箔地	コンデンサー需要が底から脱し、上向き
自動車材、自動車熱交換器材	国内需要は、消費税率アップ前の駆け込み需要が見込まれるが、自動車メーカー、自動車熱交メーカーの海外生産シフト、現調化は継続
半導体･液晶製造装置用厚板	スマートフォンや携帯端末が大幅増となり、半導体メモリー向け装置需要が旺盛。景況感も良く、半導体製造装置需要は底堅い
ＬＮＧ船用厚板	日本企業が参画するシェールガス大型案件（米国）が、2017年度より日本への輸送開始。30隻程度のＬＮＧ船が必要との情報（2013年10月19日日経）
輸出缶材	円安により、円ベースでの収益は改善傾向
エアコン向け銅管	需要は底堅く横ばい



© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

４．今後の方向性

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

経営統合の進捗状況について

2013年 10月1日　(株)ＵＡＣＪ発足



- ＵＡＣＪ本体に板事業とグループ統括機能を持たせ、押出、箔、鋳鍛、伸銅、加工品事業をセグメント分社化。　ＵＡＣＪグループとして経営のスピードアップ化を図る。
  1月、箔事業会社を統合予定。

- 統合推進部を設置し、統合効果の早期創出に向け諸施策を実施中。
  社内融合に向けて様々な活動を実行中。

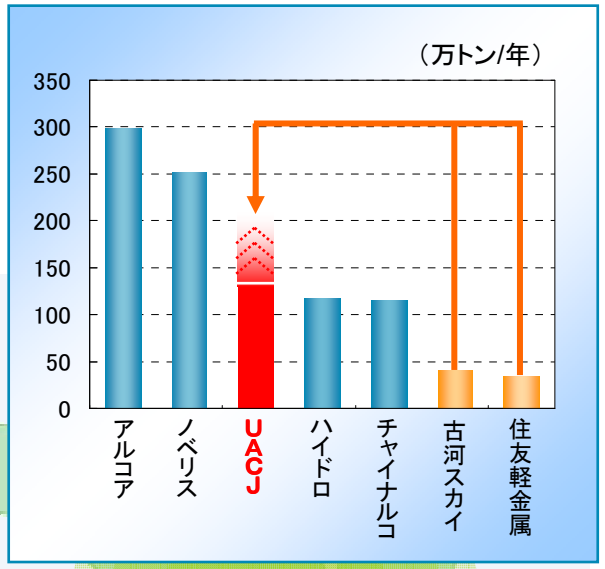




© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

経営統合の進捗状況について

- 生産能力　100万トン超、世界第3位に
- グローバルに展開する生産拠点ネットワークを獲得



© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

タイ新圧延工場進捗状況

最新鋭の設備を備え、“高品質”と“コスト競争力”を両立する本格的アルミ圧延工場

	CY2013	CY2014	CY2015
国　内	冷延移設		
第1期 冷延工程～	設備据付 試運転	2014.1　操業開始 6万ﾄﾝ/年	
第2期 鋳造から一貫生産	建設、設備据付、試運転		2015.3　操業開始 18万ﾄﾝ/年

- 2014年1月の第1期操業開始に向け、建屋等の工事は計画通り順調に推移。生産･販売共に垂直立ち上げを目指す。
- 成長著しい東南アジアマーケットにおいて、2015年以降第2期18万トン/年。更なる拡大を目指す。



© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

海外会社へ資本参加

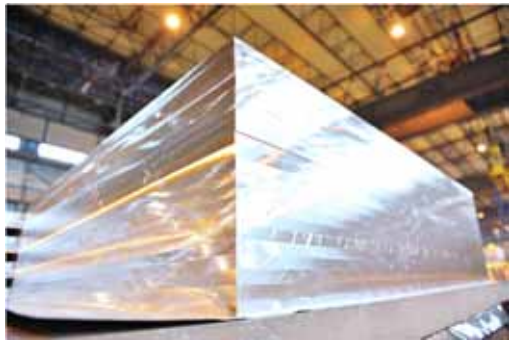
HAM（マレーシア／アルミ箔等の製造、販売）

- 日本製箔（「UACJ100%」子会社）がマレーシアの箔会社「Hydro Aluminium Malaysia Sdn. Bhd.」を買収（社名は買収後変更予定）。
  12月～14年1月頃クロージング予定。
- 箔事業で今後高い成長が期待される東南アジア市場へ進出。



FSP（韓国／アルミ厚板、加工品販売）

- ＵＡＣＪが韓国のアルミニウム加工および販売会社エフエスピー（株）（プリズムコリア100%子会社）に資本参加および経営参画。
- 需要拡大が見込まれる液晶・半導体製造装置等向けのアルミニウム厚板および加工品などの販売を拡充。



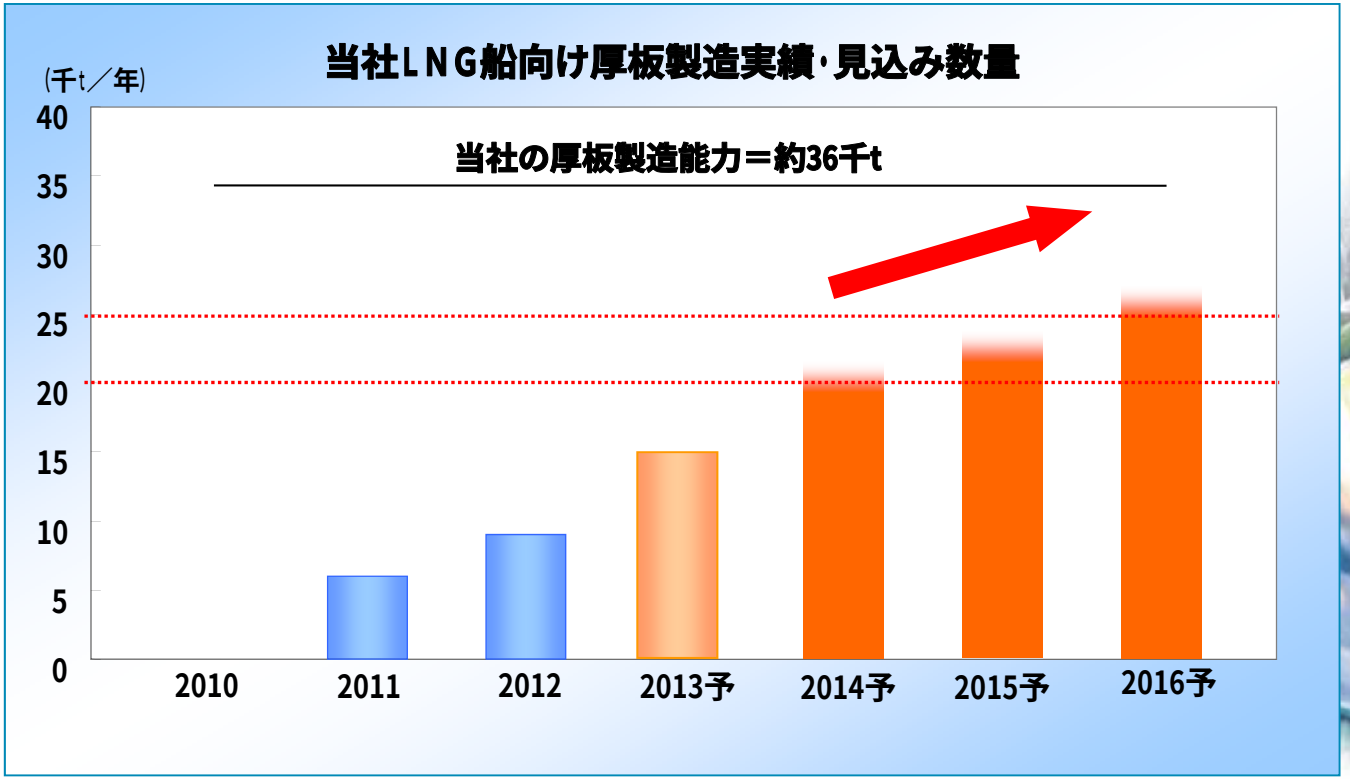
© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

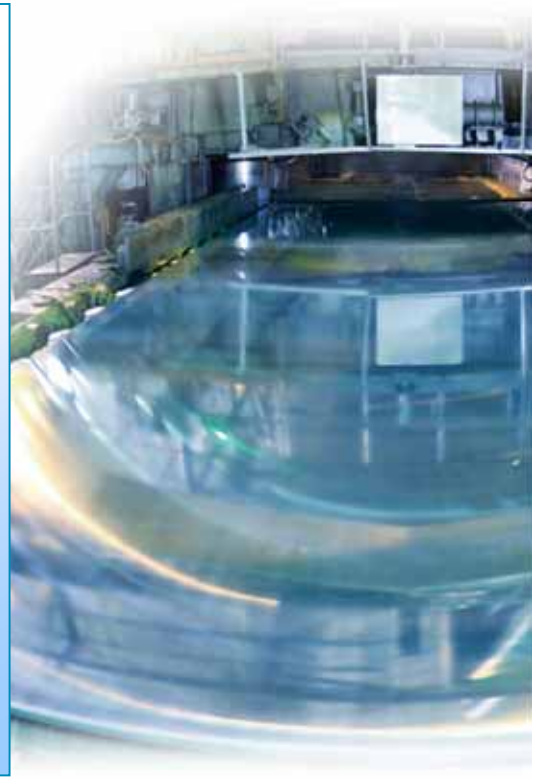
主要製品動向　＜LNG船向け厚板＞

ＬＮＧ船向け厚板の需要動向

- 火力発電向けエネルギーとしてのＬＮＧ需要増加傾向は継続
- 米国シェールガスの対日輸出承認（2017年調達開始）に続き、カナダ産シェールガスについても2018年度から対日輸出開始の見通し

※　日本経済新聞・日本海事新聞記事より





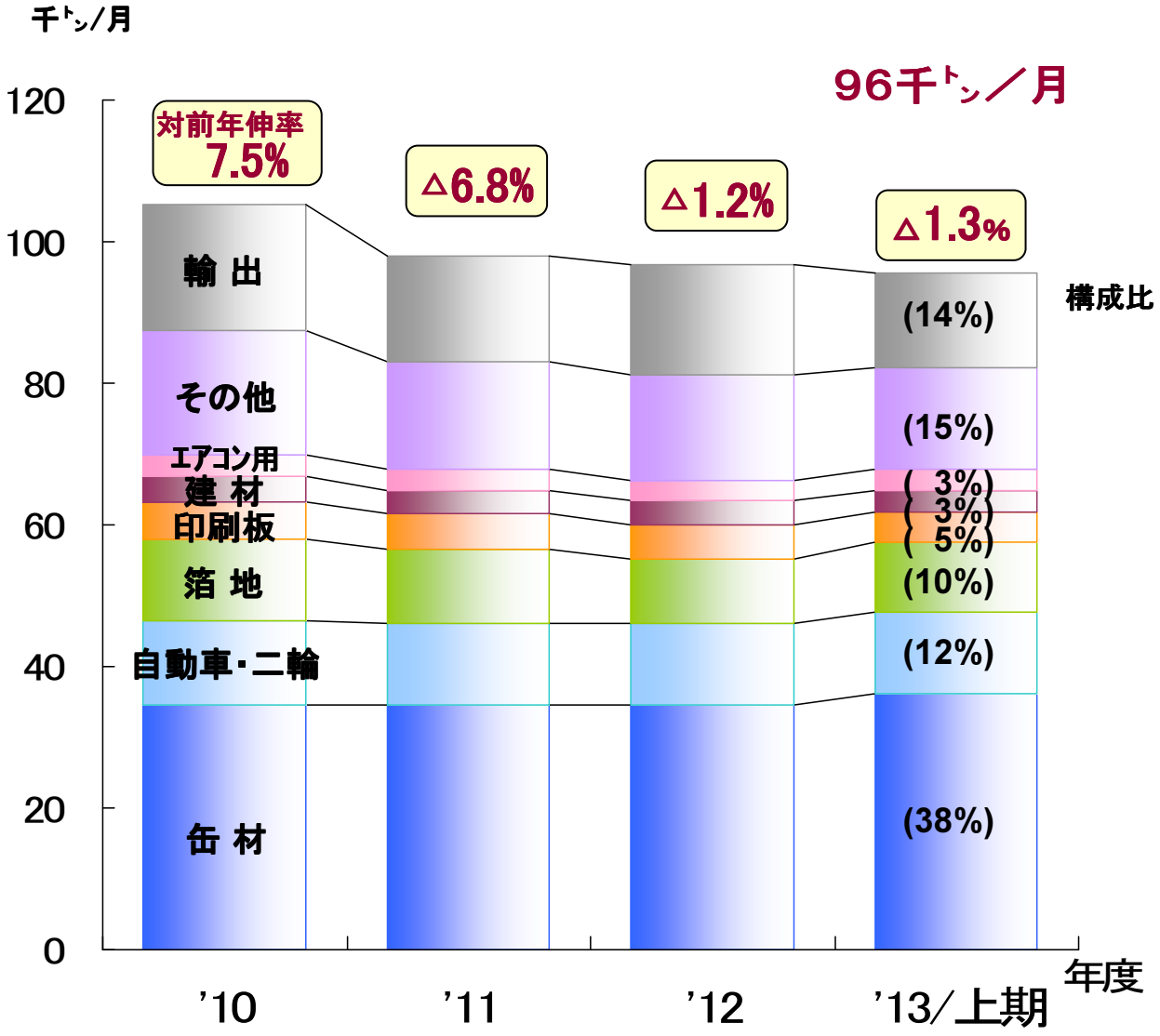
© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

（参考資料）
需要分野別販売概要

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

① アルミ板 <業界全体出荷量>

データ：日本アルミニウム協会

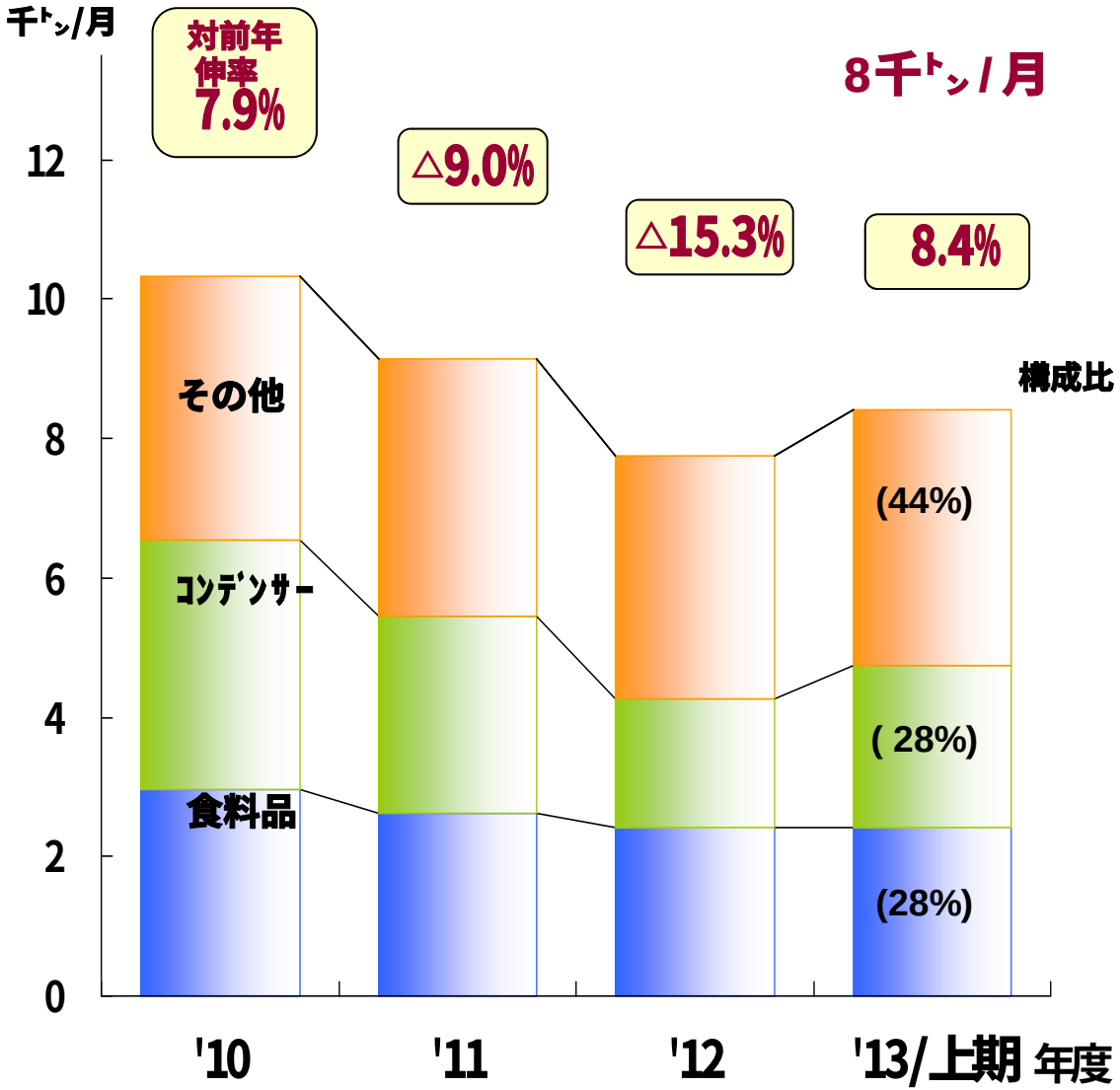


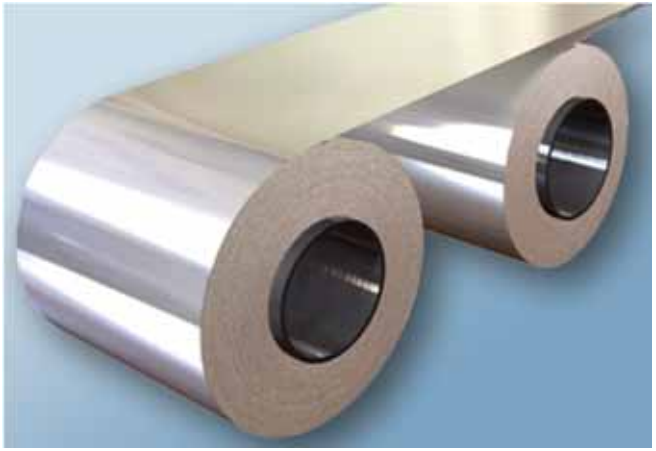


© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

② 箔 <業界全体出荷量>

データ：日本アルミニウム協会

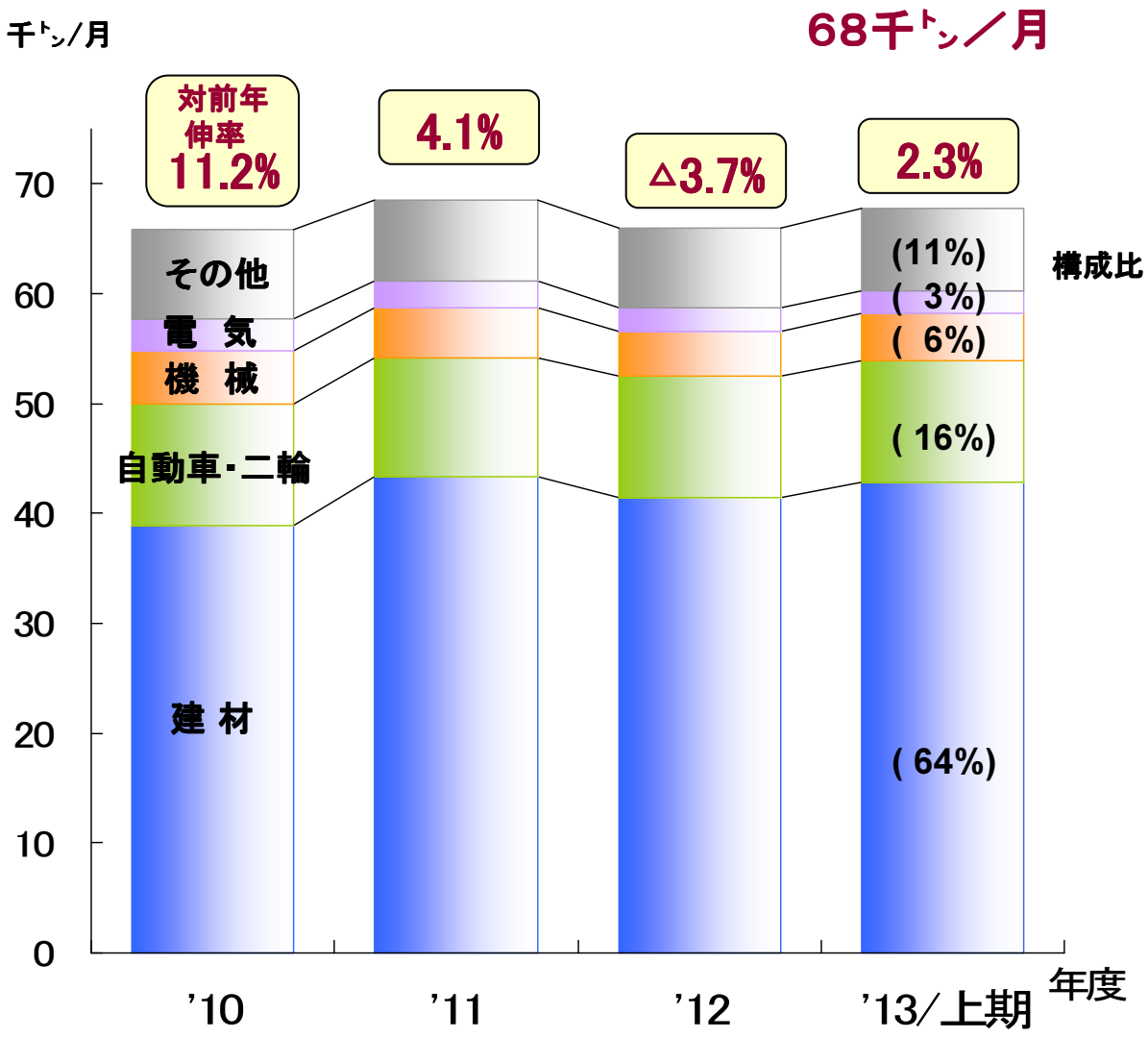


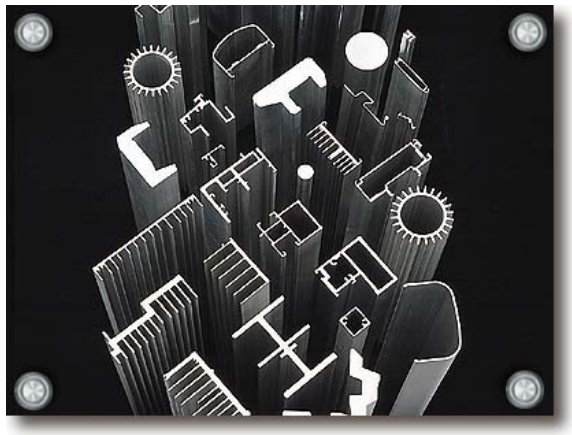


© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

③ アルミ押出 <業界全体出荷量>

データ：日本アルミニウム協会

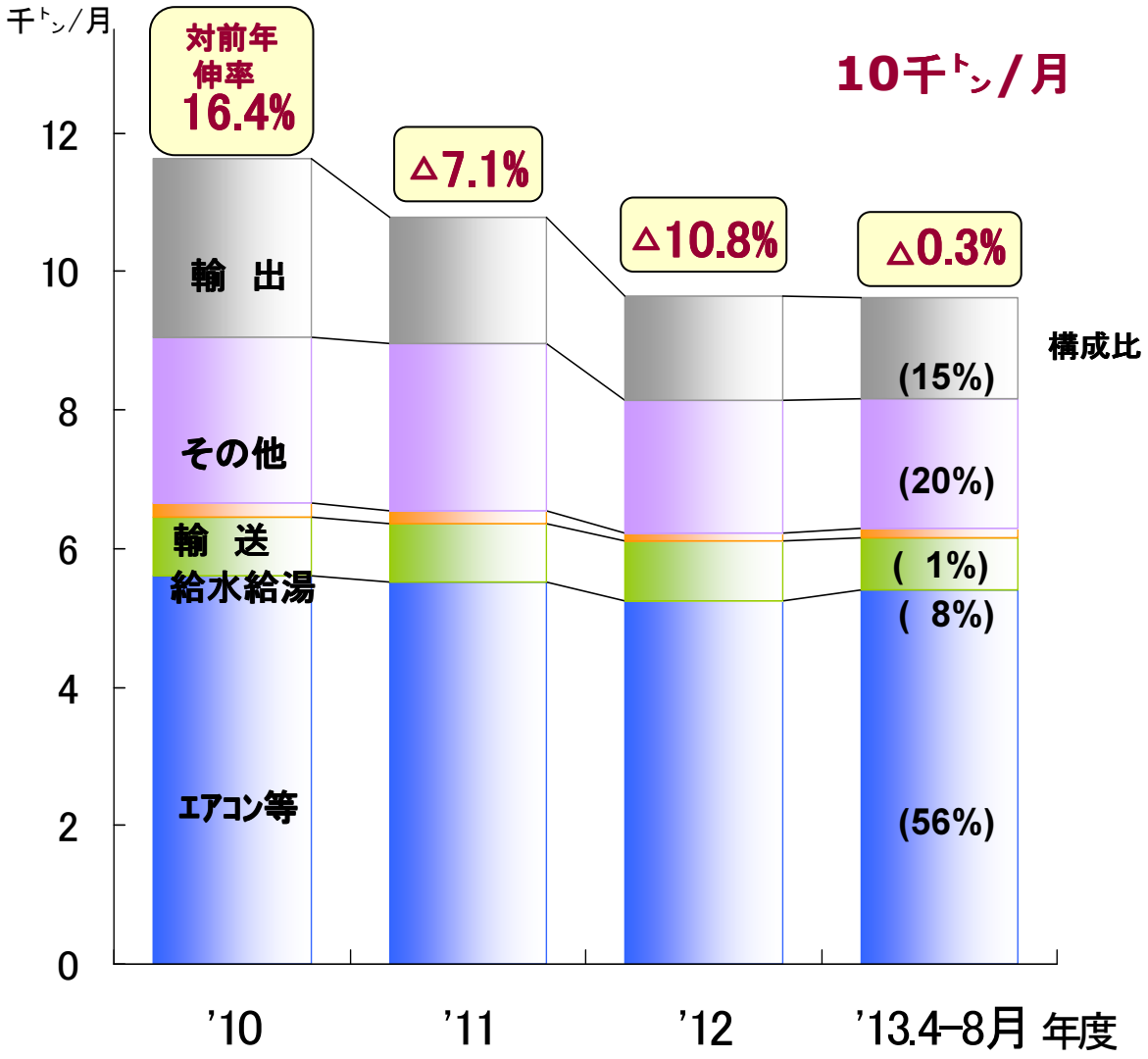


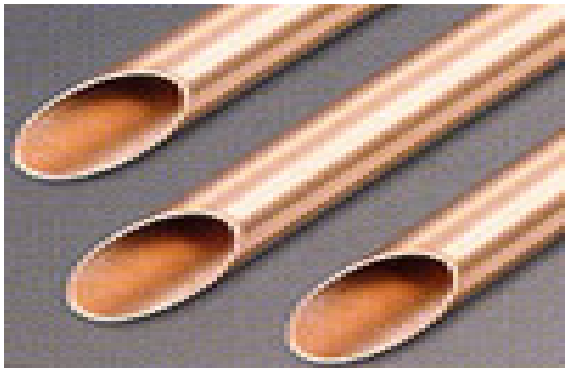


© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

④ 銅 管 <業界全体出荷量>

データ：日本伸銅協会





© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があり、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報IR部　TEL：03-6202-2654　FAX：03-6202-2021

URL：http://www.uacj.co.jp

（東証1部　コード番号：5741）

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.